

八幡市市民協働活動センターだより

令和4年6月 — 第 31 号 —

発行：八幡市立市民協働活動センター

(運営：特定非営利活動法人八幡まちづくり協会)

登録団体の活動ニュース

「八幡の歴史を探究する会」

1. 令和4年度の活動状況（その1：4月～6月）

(1) 4月例会（講演と交流の集い）4月22日「石清水八幡宮の文化財について」

— 西 中道氏（石清水八幡宮禰宜）講演会 —

(2) 第36回連続学習会 5月11日

「航海記念大石塔あれこれ」 講師：野間口 秀國氏

(3) 6月例会（講演と交流の集い）6月8日

「知を知る 松花堂昭乗の書画美術」

— 川畑 薫氏（松花堂庭園・美術館）講演会 —

(4) 会報109号の発行



講演会（西 中道氏）：八幡市文化センター

2. 今後の予定

7月13日(水)八幡の歴史を学ぶ連続学習会(第37回)

8月27日(土)講演と交流の集い(講師：鍛代敏雄氏)

9月14日(水)八幡の歴史を学ぶ連続学習会(第38回)

10月8日(土)講演と交流の集い(講師：小森俊寛氏)

10月29日(土)～30日(日)第50回八幡市市民文化祭に出展

11月9日(水)八幡の歴史を学ぶ連続学習会(第39回)

12月 歴史探訪ウォーク「第10回八幡の古寺巡礼」

1月11日(水)八幡の歴史を学ぶ連続学習会(第40回)

2月 会員の研究発表(谷村勉氏)

3月8日(水)八幡の歴史を学ぶ連続学習会(第41回)

「八幡自然塾」

こんなん知ってた？ ホットー息

スズメの襟巻

鳥類の羽毛は発生学的には哺乳類の毛と同様に表皮が変形したものとされているが、その形態や機能は毛とは大きく異なるもので鳥類独特のものである。

そして頭頂から手足の先に至るまで、その部位に適し、特化した異なる形態の羽毛を有しているのである。手や尻には飛翔のための翼と尾翼の役目を、腹部には保温の役目を・・・といった具合である。写真の襟巻のような首回りの羽毛は、頭部の回転や飛翔時の防風を兼ねており、頭巾状にして風を切りやすくするほか、体温が奪われないようになっている。



センター施設利用のご案内

活動センター施設（団体活動室及びコピー機、印刷機、ロッカー等）をご利用いただくには、**団体登録（無料）**が必要です。

<登録にあたっての注意点>

◎活動内容がNPO団体等の市民の自主的で営利を目的としない社会に貢献する活動であること。

◎活動センターの目的の一つである「団体同士の連携やネットワークづくり」「施設運営」に協力できること。

◎利用禁止事項の遵守

政治・宗教・営利目的活動、公の秩序又は公序良俗に反する活動をしないこと。

以上の注意点を了承いただき、登録申請書、規約、活動の分かる資料とともに活動センター事務局スタッフまでご提出下さい。

<新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のお願い>

◎施設ご利用の際には、十分な換気、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用や咳エチケット、アルコール除菌の徹底等をお願いしています。

◎上記の注意事項を徹底することが難しい利用については、お申込をお断りする場合がございますのでご了承下さい。

参 考 京都府 感染拡大予防ガイドライン(例)

https://www.pref.kyoto.jp/kentai/news/documents/guideline_rei.pdf

厚生労働省 国民の皆様へ(新型コロナウイルス感染症)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html

かまきり

3年ぶり！祇園祭山鉾巡行

“八幡と蟻螂山の縁を訪ねて” 歴史ツアー再開！



蟻螂山の上で動く大かまきり

疫病退散を起源とする祇園祭の山鉾巡行は3年ぶりの再開となりました。当協会は蟻螂山保存会とのご縁で7年前より歴史ツアーを開催しています。山鉾巡行が中止となった2年間は粽販売で支援してきました。今年は今までのツアーをさらに深めて様々な角度から蟻螂山の“うらがわ”に迫ります。普段見ることができない、知ることがない事、さらに御所車の上の動くカマキリのからくりはどうなっているのでしょうか。アップグレードしたツアーにぜひご参加下さい。

◆ 蟻螂山と八幡の縁とは

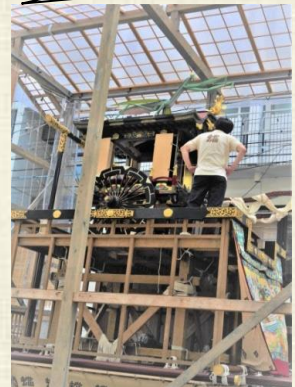
蟻螂山の起源は南北朝時代に南朝方の武将として活躍した公卿、四条隆資（1292～1352）の勇敢に戦う様子を中国の故事にある「蟻螂の斧」になぞらえ、渡来人で同町の陳外郎大年宗奇（ちんういろうたいねんそうき）が卿の死後25年目（1376）、四条家の御所車に蟻螂を乗せ巡行に参加したのが始まりです。隆資卿は八幡合戦（正平の役）で没し八幡の地に慰霊の正平塚があります。そのことが蟻螂山との縁となりました。

石清水八幡宮の瑞籬（国宝）のかまきりは現在の蟻螂山のかまきりと関係があるという説もあります。

石清水八幡宮の瑞籬（国宝）のかまきり



7月13日は午前中山建て
12時～12時半・昇き初め
※昨年の解体作業中の写真



日時：7月13日（水） 8：00～12：00 雨天決行
行程：集合 8：00 石清水八幡宮駅前「観光情報ハウス」 受付開始は7：30より
ケーブル（8：30 発）－石清水八幡宮昇殿参拝－ケーブル（9：45 発）－京阪石清水八幡宮駅（10：13 発）
－京阪丹波橋－近鉄丹波橋（10：36 発）－地下鉄直通－地下鉄四条駅－蟻螂山
内容：現地で蟻螂山の歴史説明 蟻螂山実地見学 現地解散：12：00
解散後昇き初め（事前申込者のみ） *昇き初め式へ参加希望者は事前申込が必要
参加費：2,000円（昇殿参拝、蟻螂山授与品厄除け粽などを含む） 交通費は各自負担
※当日古い粽を返納できます ※各自でコロナ感染対策の上参加して下さい
申込み：八幡市観光協会 電話 075-981-1141
【お申し込みの際は、お名前、電話番号（当日連絡可能な番号）昇き初め式への参加希望の有無をご連絡下さい】
受付日：7月1日より 10：00～17：00 先着20名様で締め切ります

主催：やわた観光ガイド協会 共催：（一社）八幡市観光協会 後援：八幡市 協力：蟻螂山保存会

市民協働活動センター

- 所在地 〒614-8022
八幡市八幡東浦5（旧八幡東小学校 南棟1階）
京阪バス・コミュニティバスやわた「八幡東浦」
下車北へ徒歩100m ※敷地内駐車場スペースあり
- 電話 075-925-5748
- FAX 075-925-5748
- メール ywt-npo.support@kcf.biglobe.ne.jp
- ホームページ <http://www.city.yawata.kyoto.jp/0000004546.html>
- 開館日と開館時間
月・火・水・金・土 午前9時～午後6時
(年末年始・祝日を除く) ※事務室スタッフは開館日の開館時間入室

